

資料 2

【総合教育会議 説明資料】

平成30年度 全国学力・学習状況調査 結果(概要)

平成30年11月26日(月)

名張市教育委員会

調査の概要

全国学力・学習状況調査

文部科学省が平成19年度より実施

※平成23年度は震災の影響で実施せず
本年度で11回目(12年目)

<平成30年度>

◎実施日 平成30年4月17日(火)

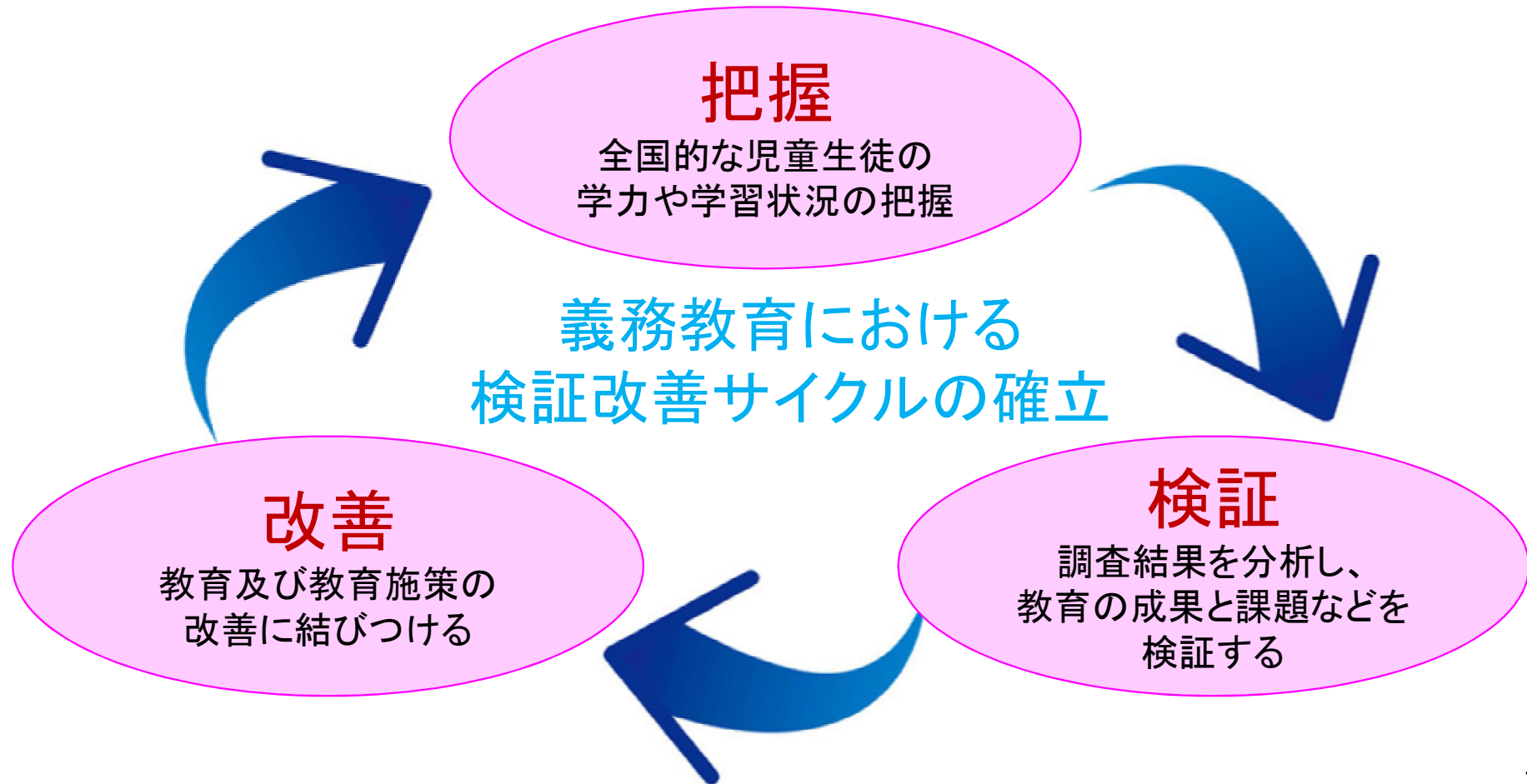
◎実施項目

小学校・・・国語A・B、算数A・B、理科、児童質問紙

中学校・・・国語A・B、数学A・B、理科、生徒質問紙

A:主として「知識」に関する問題 B:主として「活用」に関する問題

調査の目的



調査の問題数

調査項目		国語		算数・数学		理科
		A	B	A	B	
小学校	問題数	12問	8問	14問	10問	16問
	形式	選択式11 短答式1	選択式5 記述式3	選択式10 短答式4	選択式3 短答式2 記述式5	選択式13 短答式1 記述式2
中学校	問題数	32問	9問	36問	14問	27問
	形式	選択式21 短答式11	選択式6 記述式3	選択式18 短答式18	選択式2 短答式7 記述式5	選択式17 短答式4 記述式6

※全国との平均正答率の差は、
平均正答数の差で表すと、小学校 $-0.7 \sim -0.4$ 問、中学校 $\pm 0 \sim +0.7$ 問

調査の人数

	在籍	対象	当日実施	後日実施
小学校14校	684名	663名	646名	11名
中学校 5校	668名	649名	632名	8名
合計	1352名	1312名	1278名	19名

※公表データに反映されているのは、**当日実施児童生徒分のみ**。

※後日実施生徒数分は、採点のみされ調査結果(個人票)は返却される。

平均正答率

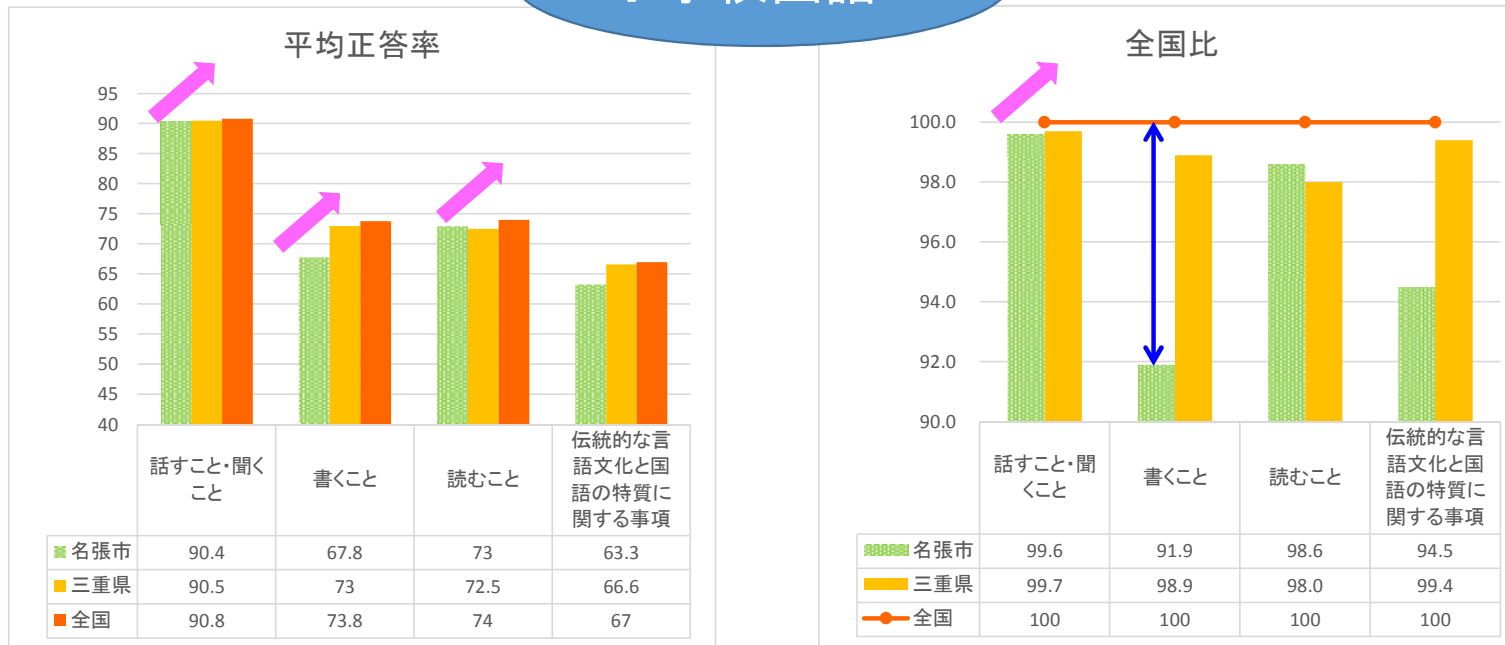
※ポイント差ではなく、
全国比(全国平均を100としたときの得点率)で比較。

小学校 調査項目	平成30年度					平成29年度			
	国語		算数		理科	国語		算数	
	A	B	A	B		A	B	A	B
名張市平均	68.0	50.0	58.0	46.0	57.0	73.0	57.0	76.0	43.0
全国比(%)	96.2	91.4	91.3	89.3	94.5	97.6	99.1	96.7	93.7
前年度との差	↓1.4	↓7.7	↓5.4	↓4.4	—	↓0.5	↓3.1	↓4.2	↓3.4
三重県平均	70.1	53.6	62.8	50.1	58.8	73.6	57.0	77.4	44.6
全国平均	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	74.8	57.5	78.6	45.9

名張市 \geq 全国・三重県 全国 $>$ 名張市 \geq 三重県 全国・三重県 $>$ 名張市

平均正答率

小学校国語A



※平均正答率は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が一番低いが、全国比が一番低いのは「書くこと」。

※「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、ここ5年間、全国平均を下回っている。

※「話すこと・聞くこと」で、全国比の伸びが見られた。

平均正答率

小学校国語B



※平均正答率は「書くこと」が一番低いが、全国比が一番低いのは「読むこと」。
 ※すべての領域で、全国比が昨年度を下回った。

平均正答率

小学校算数A



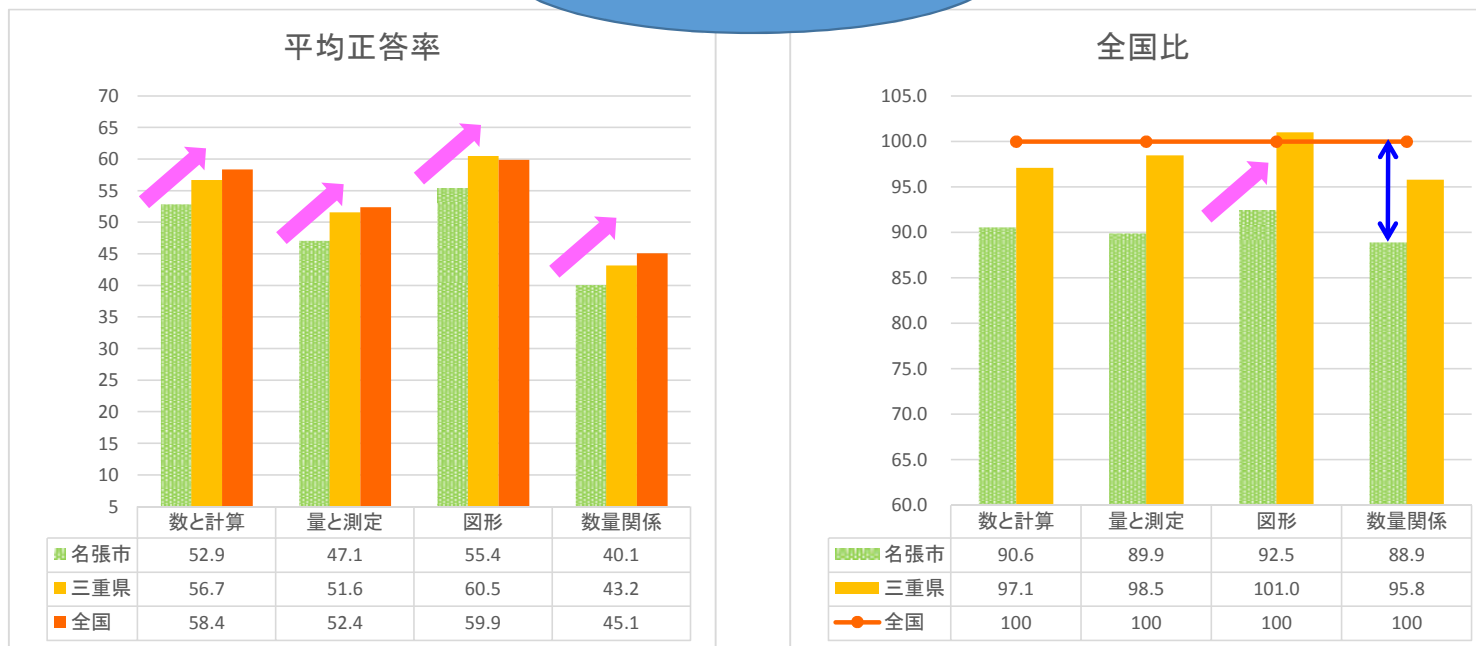
※平均正答率、全国比ともに「図形」が一番低い。

※「数と計算」、「図形」、「数量関係」は、ここ5年間、全国平均を下回っている。

※「量と測定」で、全国比の伸びが見られた。

平均正答率

小学校算数B

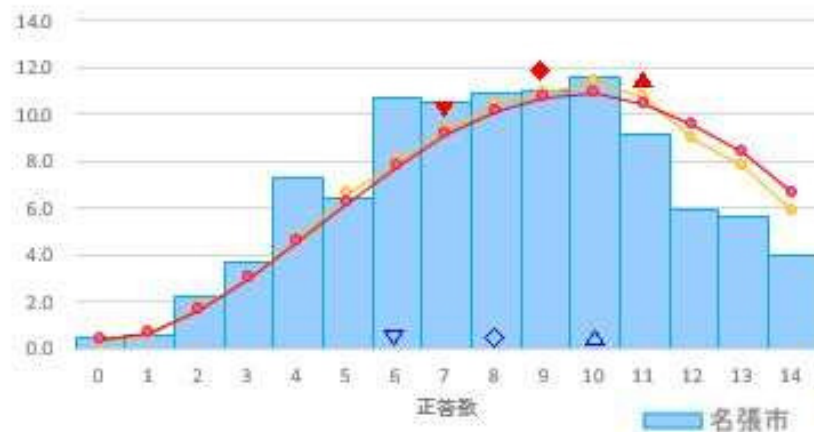


- ※平均正答率、全国比ともに「数量関係」が一番低い。
- ※「数と計算」、「図形」、「数量関係」は、ここ5年間、全国平均を下回っている。
- ※「図形」で、全国比の伸びが見られた。

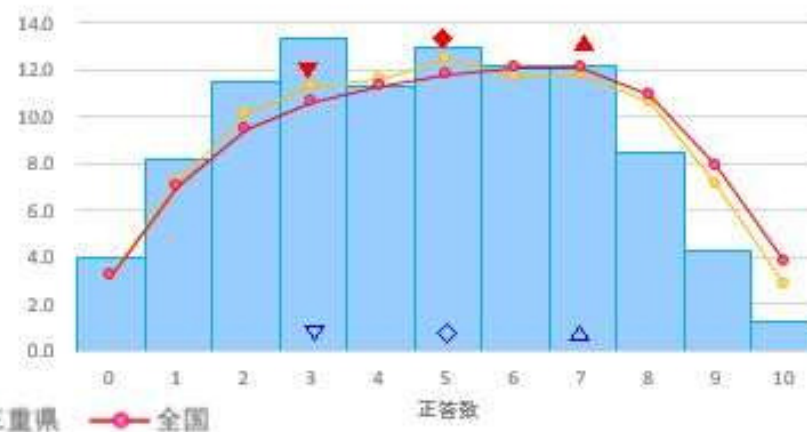
小学校		算数A		
	名張市	全国	差	
平均正答率	58.0	63.5	-5.5	
無解答率	2.59	2.48	+0.11	

小学校		算数B		
	名張市	全国	差	
平均正答率	46.0	51.5	-5.5	
無解答率	9.48	7.93	+1.55	

<平均正答数>



	名張市	三重県	全国
第3四分位	△10.0問	11.0問	▲11.0問
第2四分位	◇ 8.0問	9.0問	◆ 9.0問
第1四分位	▽ 6.0問	7.0問	▼ 7.0問



	名張市	三重県	全国
第3四分位	△7.0問	7.0問	▲7.0問
第2四分位	◇5.0問	5.0問	◆5.0問
第1四分位	▽3.0問	3.0問	▼3.0問

平均正答率

小学校理科



※平均正答率、全国比ともに「地球」が一番低い。

平均正答率

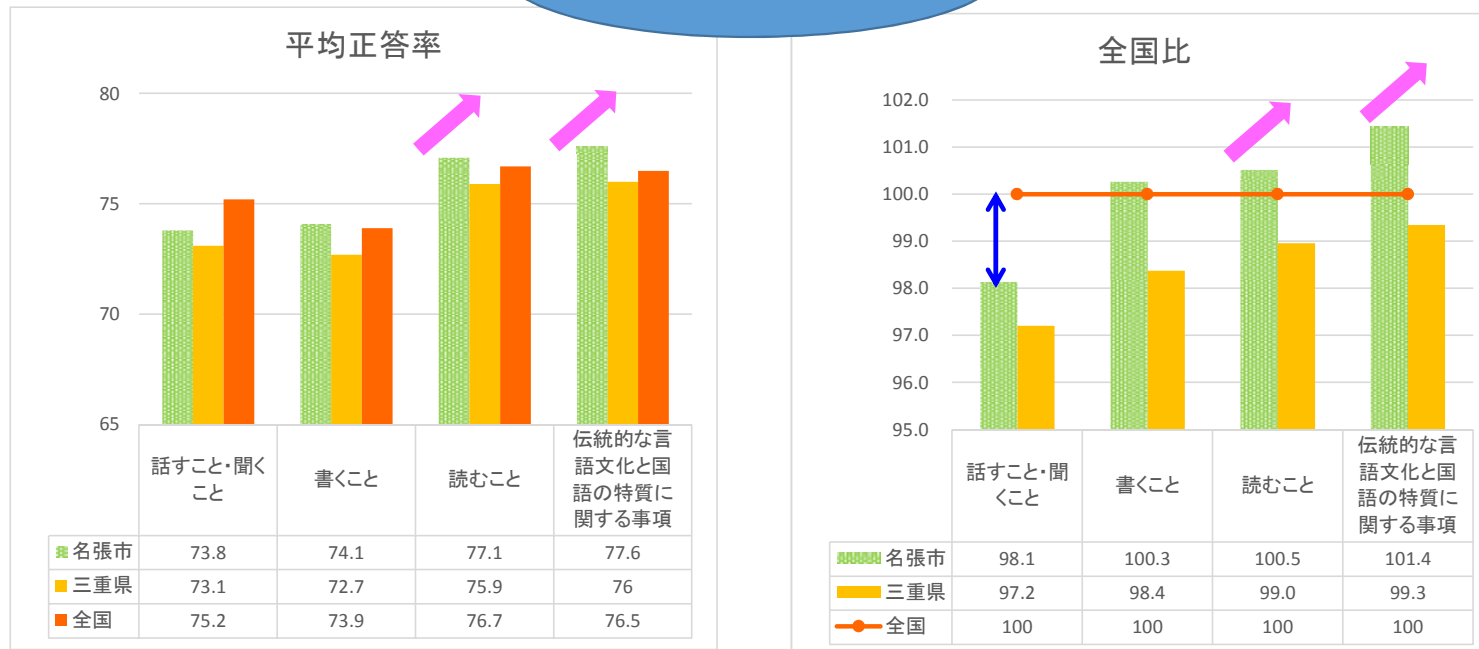
※ポイント差ではなく、
全国比(全国平均を100としたときの得点率)で比較

中学校 調査項目	平成30年度					平成29年度			
	国語		数学		理科	国語		数学	
	A	B	A	B		A	B	A	B
名張市平均	77.0	61.0	68.0	48.0	68.0	76.0	72.0	65.0	48.0
全国比(%)	101.2	99.7	102.9	102.3	102.9	98.2	99.7	100.6	99.8
前年度との差	↑3.0	0.0	↑2.3	↑2.6	—	↑0.2	↑2.3	↓0.8	↑0.5
三重県平均	75.3	59.7	66.6	45.7	66.0	76.9	70.7	65.3	47.3
全国平均	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	77.4	72.2	64.6	48.1

名張市 \geq 全国・三重県 全国 $>$ 名張市 \geq 三重県 全国・三重県 $>$ 名張市

平均正答率

中学校国語A

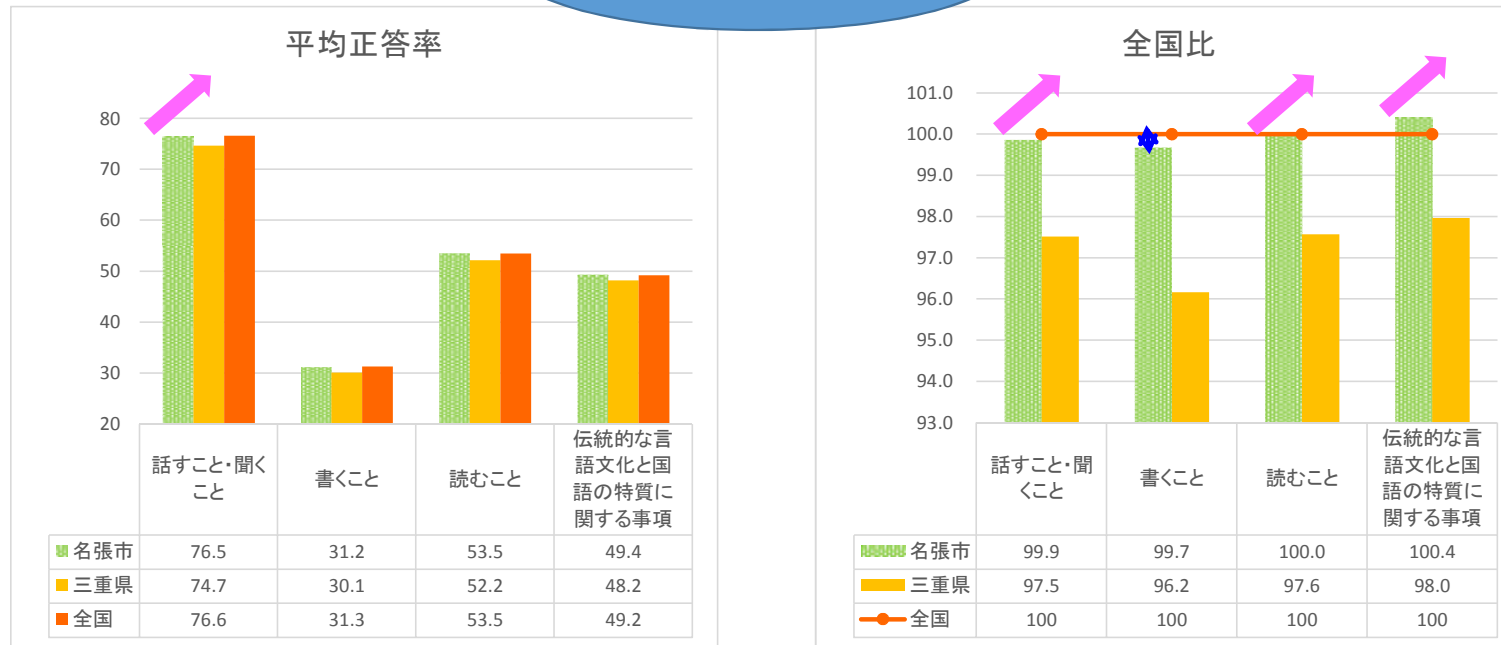


※平均正答率、全国比ともに「読むこと・書くこと」が一番低い。

※「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国比の伸びが見られた。

平均正答率

中学校国語B



※平均正答率、全国比ともに「書くこと」が一番低い。

※「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国比の伸びが見られた。

平均正答率

中学校数学A



※平均正答率は「関数」が一番低いですが、全国比が一番低いのは「図形」。

※「関数」は、ここ5年間、全国平均を上回っている。

※すべての領域で、全国比の伸びが見られた。

平均正答率

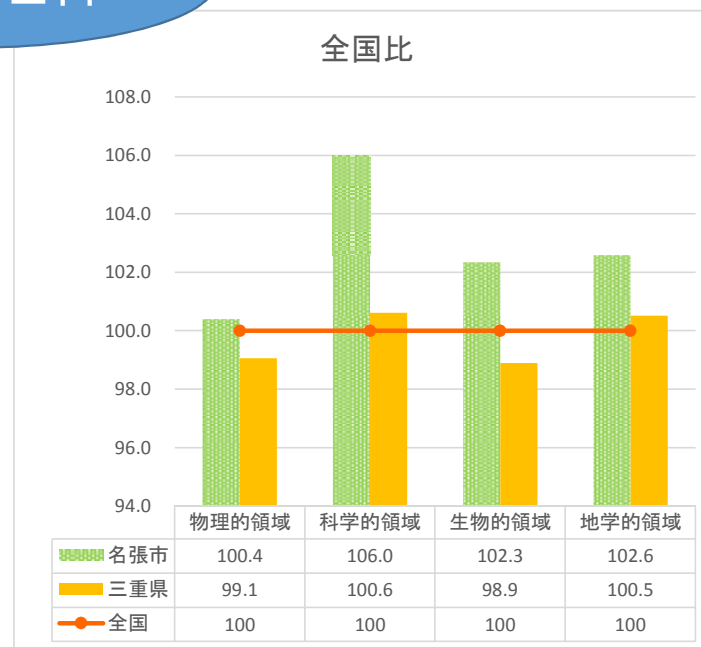
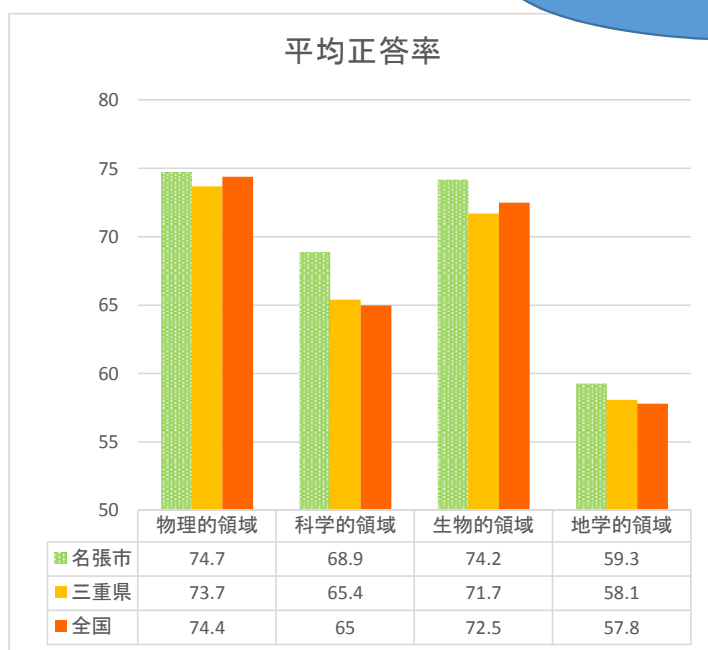
中学校数学B



- ※平均正答率、全国比ともに「資料の活用」が一番低い。
- ※「図形」は、ここ5年間、全国比が高い傾向。(H27のみ下回った)
- ※「数と式」、「図形」で、全国比の伸びが見られた。

平均正答率

中学校理科

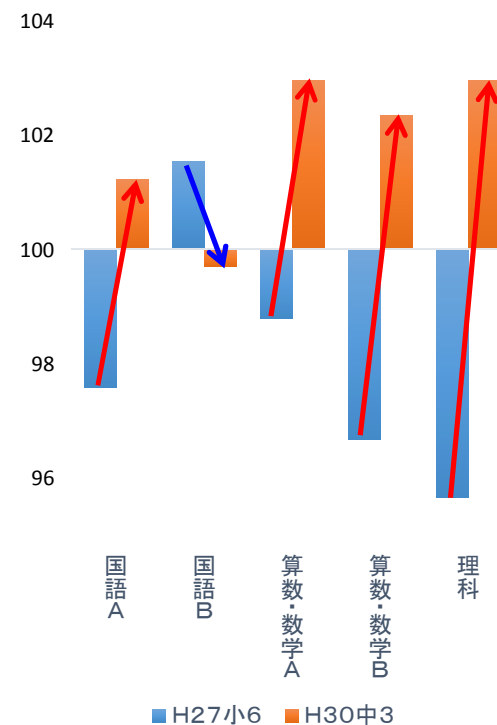


※平均正答率は「地学的領域」が一番低いですが、全国比が一番低いのは「物理的領域」。

小6→中3の経年変化

※ポイント差ではなく、
全国比(全国平均を100としたときの得点率)で比較

調査項目	平成30年度 (中学校3年生)					平成27年度 (小学校6年生時)				
	国語		数学		理科	国語		算数		理科
	A	B	A	B		A	B	A	B	
名張市平均	77.0	61.0	68.0	48.0	68.0	68.3	66.4	74.3	43.5	58.2
全国比(%)	101.2	99.7	102.9	102.3	102.9	97.6	101.5	98.8	96.7	95.7
3年前との差	↑3.6	↓1.9	↑4.1	↑5.7	↑7.2	—	—	—	—	—
三重県平均	75.3	59.7	66.6	45.7	66.0	68.0	65.3	74.8	44.1	59.2
全国平均	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8



名張市 \geq 全国・三重県 全国 $>$ 名張市 \geq 三重県 全国・三重県 $>$ 名張市

小6→中3の経年変化

※ポイント差ではなく、
全国比(全国平均を100としたときの得点率)で比較

中学校		H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H22
国語A	名張市	77.0	76.0	74.1	76.9	78.8	74.7	73.7	76.0
	全国比(全国を100)	101.2%	98.2%	98.0%	101.5%	99.2%	97.8%	98.1%	101.2%
	小6時との比較	3.6%	6.3%	-0.9%	2.8%	(比較不可)	-2.6%	0.7%	0.6%
	全国	76.1	77.4	75.6	75.8	79.4	76.4	75.1	75.1
国語B	名張市	61.0	72.0	64.8	66.1	49.9	66.4	60.9	66.8
	全国比(全国を100)	99.7%	99.7%	97.4%	100.5%	97.8%	98.5%	96.2%	102.3%
	小6時との比較	-1.9%	5.7%	1.7%	4.8%	(比較不可)	2.2%	2.1%	3.9%
	全国	61.2	72.2	66.5	65.8	51.0	67.4	63.3	65.3
数学A	名張市	68.0	65.0	63.1	66.0	69.4	64.6	60.9	65.4
	全国比(全国を100)	102.9%	100.6%	101.4%	102.5%	103.0%	101.4%	98.1%	101.2%
	小6時との比較	4.1%	5.1%	2.9%	2.6%	(比較不可)	1.7%	2.8%	1.8%
	全国	66.1	64.6	62.2	64.4	67.4	63.7	62.1	64.6
数学B	名張市	48.0	48.0	43.8	41.0	62.1	41.6	45.3	42.8
	全国比(全国を100)	102.3%	99.8%	99.3%	98.6%	103.8%	100.2%	91.9%	98.8%
	小6時との比較	5.7%	7.0%	6.2%	0.9%	(比較不可)	3.5%	-4.1%	1.2%
	全国	46.9	48.1	44.1	41.6	59.8	41.5	49.3	43.3
理科	名張市	68.0			50.3			49.1	
	全国比(全国を100)	102.9%			94.9%			96.3%	
	小6時との比較	7.2%			-3.6%			(比較不可)	
	全国	66.1			53.0			51.0	

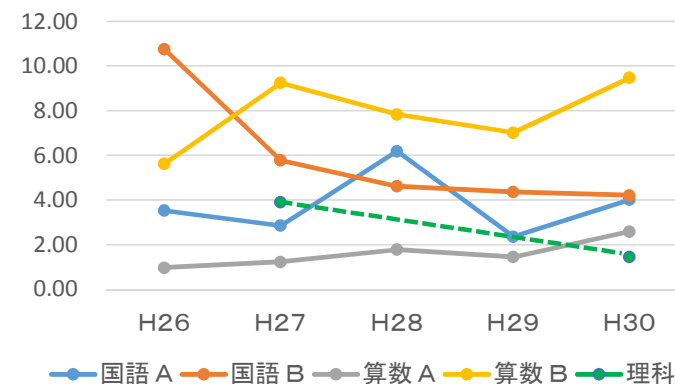
無解答率

名張市 \geq 全国

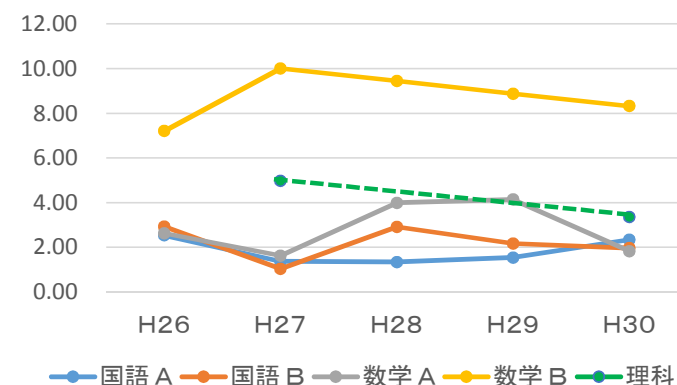
全国 $>$ 名張市

	年度	H26	H27	H28	H29	増減	H30	
	調査項目	名張市	名張市	名張市	名張市		名張市	全国
小学校	国語A	3.53	2.86	6.19	2.36	↑1.66	4.02	3.51
	国語B	10.75	5.78	4.62	4.36	↓0.15	4.21	3.76
	算数A	0.97	1.23	1.78	1.45	↑1.14	2.59	2.48
	算数B	5.63	9.25	7.84	7.02	↑2.46	9.48	7.93
	理科		3.90				1.46	1.21
中学校	国語A	2.54	1.37	1.34	1.54	↑0.80	2.34	3.15
	国語B	2.93	1.04	2.92	2.17	↓0.21	1.96	3.01
	数学A	2.63	1.63	3.99	4.14	↓2.31	1.83	3.28
	数学B	7.21	10.01	9.45	8.88	↓0.55	8.33	12.61
	理科		4.97				3.36	5.04

小学校



中学校



※無解答率は、B問題の記述式問題で高い傾向。

左から右へ、全国正答率の高い順に問題番号を記載

問題番号	問(1)	問(2)	問(3)	問(4)	問(5)	問(6)	問(7)	問(8)	問(9)	問(10)	問(11)	問(12)	問(13)	問(14)	問(15)	問(16)	問(17)	問(18)	問(19)	問(20)
問題の概要	はじめての算数の問題で、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。	算数の学習内容に習ったこと、計算結果を求めらる。
全国(小・中)正答率	94.5	76.7	87.2	100.0	94.5	94.0	41.8	81.8	40.5	23.9	54.8	19.7	15	4.3						
正答人数	33	17	34	33	36	34	14	8	8	9	1	9	9	1						
児童生徒	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
正答数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
正答率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

P曲線:
問題ごとに、上から数えて当該学校/学級の正答人数の数にあたる所を結んだ線
例) 該当設問の正答人数が「9名」なので、上から9人目のところに横線が引かれる

上から下へ、正答数の多い順に児童生徒を記載

※数字は解答類型(“0”は無解答)
※色付きセルは誤答(無解答含む)
※線が重なった場合は、以下の順で優先して表示される
縦線: 青線 > 赤線 > 赤点線
横線: 赤線 > 赤点線 > 青線

S曲線:
児童生徒ごとに、左から数えて当該児童生徒の正答数の数にあたる所を結んだ線
例) 当該児童生徒の正答数が「4問」なので、左から4問目のところに縦線が引かれる

全国正答率
※小数点第1位を四捨五入して表示

該当教科の全国正答率50%以上問題のうち、正答数が2分の1以下だった児童生徒の人数及びその割合(%)

真正答率分析対象	
人数	割合
23	18.1
<	6.1 >
(6.7)

<> 内は都道府県平均との差
() 内は全国(小・中)平均との差

児童生徒質問紙

○質問数が大幅に減少

小学校・児童質問紙	H 2 9 / 9 2 問	→	H 3 0 / 6 2 問	(3 0 問減)
中学校・生徒質問紙	H 2 9 / 9 4 問	→	H 3 0 / 5 9 問	(3 5 問減)
小学校・学校質問紙	H 2 9 / 9 9 問	→	H 3 0 / 7 3 問	(2 6 問減)
中学校・学校質問紙	H 2 9 / 9 8 問	→	H 3 0 / 7 0 問	(2 8 問減)

○質問内容の変更（新設・復活の質問数）

小学校・児童質問紙	2 0 問 / 6 2 問
中学校・生徒質問紙	1 7 問 / 5 9 問
小学校・学校質問紙	1 6 問 / 7 3 問
中学校・学校質問紙	1 4 問 / 7 0 問

<削除された質問例>

- めあてと振り返り
- 書くことに関するもの
- 国語に関するもの 等



経年変化を見れなくなった

児童生徒質問紙

※数字は、H30名張市平均(H30全国平均との差)

<成果が見られる質問例>

先生は、あなたのよいところを認めてくれている。

小学校:↓48.5%(+6.0) 中学校:↑37.8%(+5.3)

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

小学校:↑86.1%(+0.2) 中学校:↑86.9%(+6.2)

家で、学校の宿題をしている。

小学校:↑89.3%(+1.4) 中学校:↑78.5%(+10.0)

家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしている。

小学校:↑53.3%(+0.5) 中学校:↑46.4%(+1.7)

児童生徒質問紙

※数字は、H30名張市平均(H30全国平均との差)

<課題が見られる質問例>

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間

勉強しますか。(2時間以上)※学習塾、家庭教師含む

小学校:↑22.6%(**-6.7**) 中学校:↑32.7%(**-3.7**)

読書をしますか。(30分以上)

小学校:⇒36.4%(**-4.7**) 中学校:↑29.4%(**-1.5**)

放課後に何をして過ごすことが多いですか。(家で勉強や読書)

小学校:↓56.7%(**-7.4**) 中学校:↑42.1%(**-0.1**)

週末に何をして過ごすことが多いですか。(家で勉強や読書)

小学校: 51.2%(**-6.9**) 中学校: 40.0%(**-1.0**)

児童生徒質問紙

前学年までに受けた授業などについて、授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う。

前学年までに受けた授業について、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。



質問が削除された

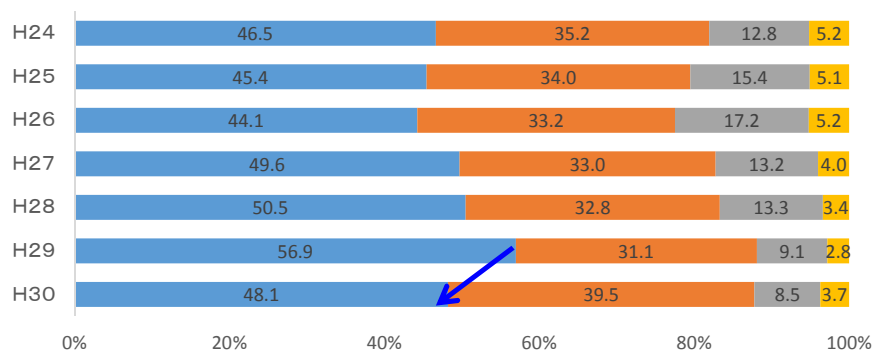
＜背景＞めあてと振り返りの実施については、かなり定着してきた

＜課題＞今後は、いかに質を向上させ、成果に結びつけるかが重要

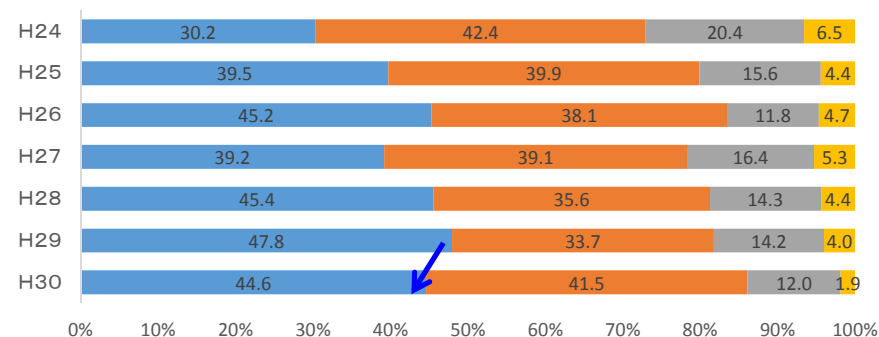
児童生徒質問紙

〇〇の授業の内容はよく分かる。

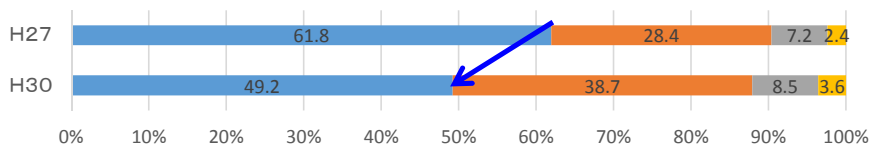
小学校算数



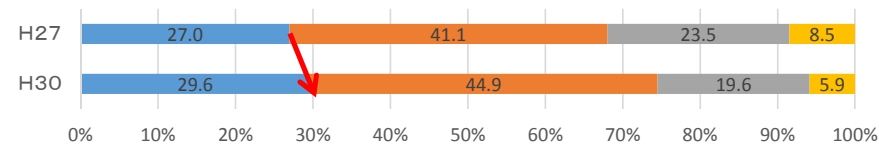
中学校数学



小学校理科



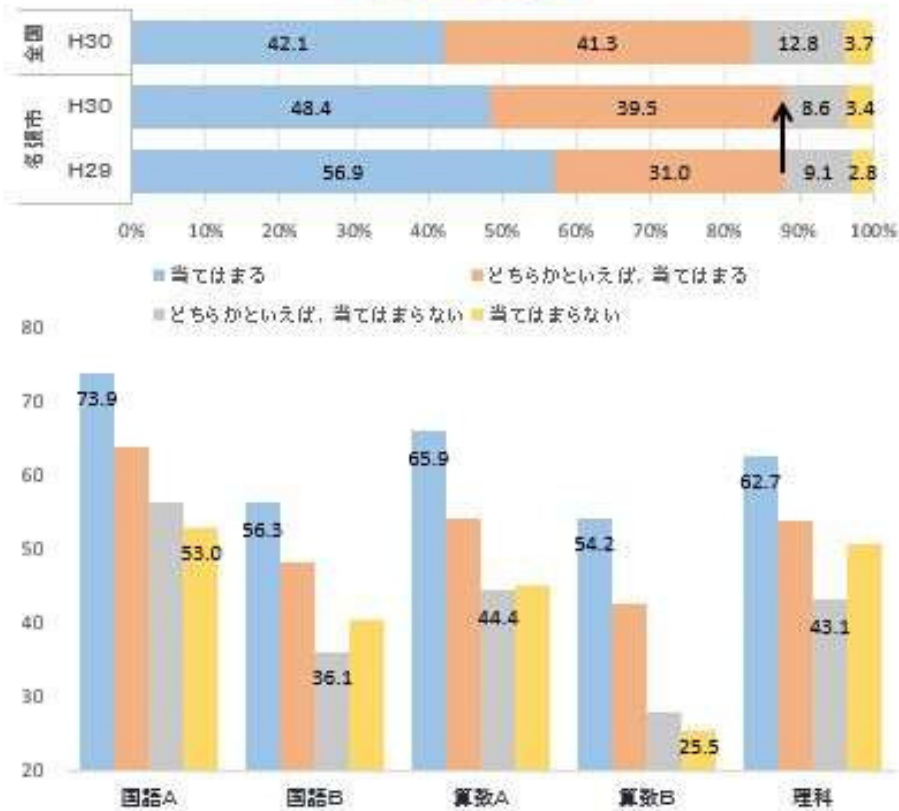
中学校理科



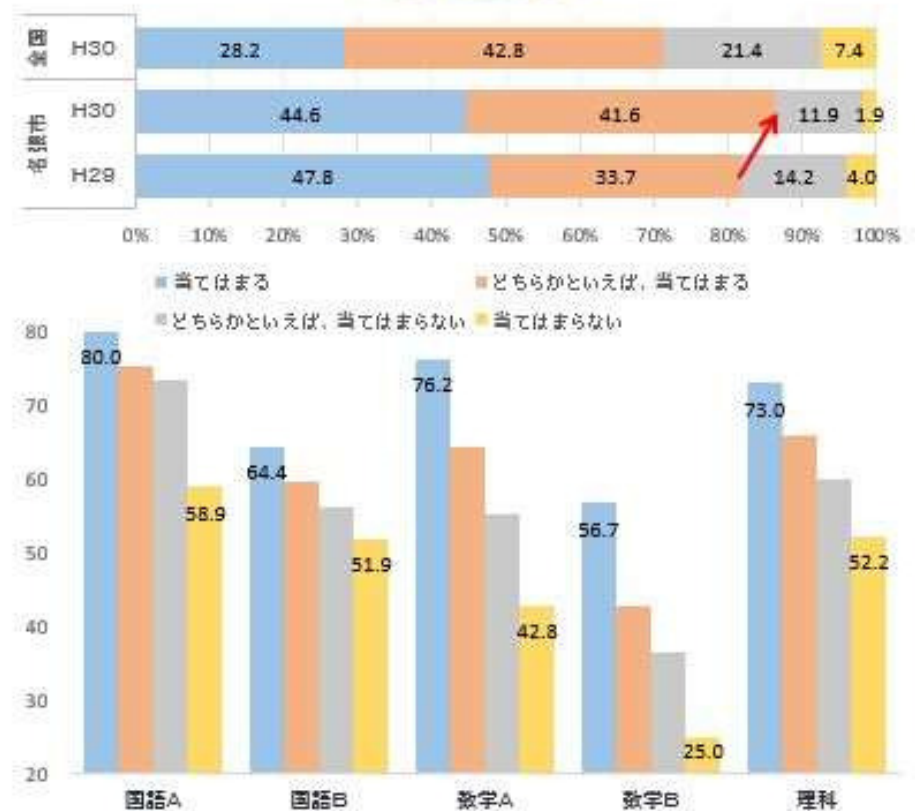
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

②算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

小学校



中学校

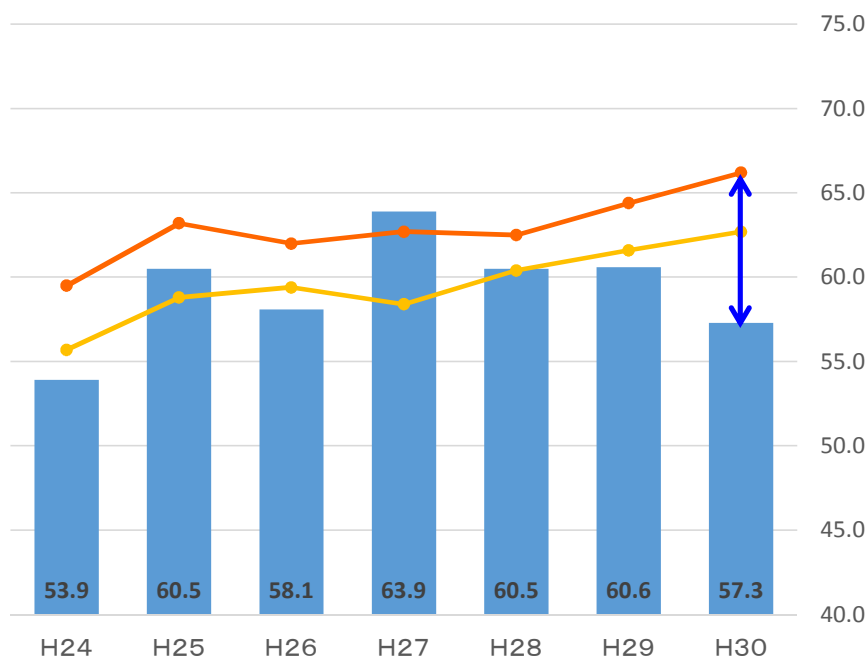


児童生徒質問紙

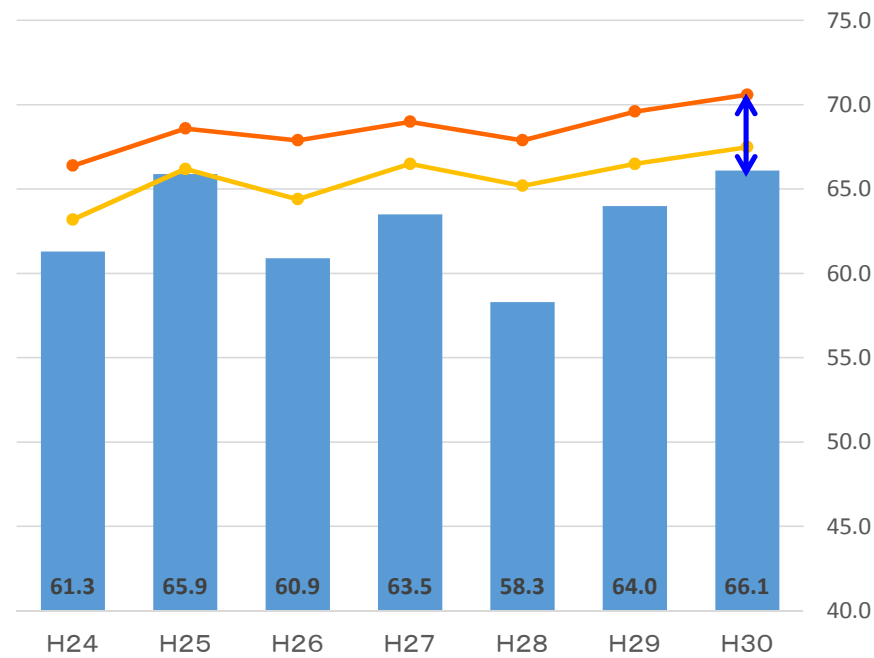
1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

(2時間以上) ※学習塾、家庭教師含む

小学校 平日勉強



中学校 平日勉強



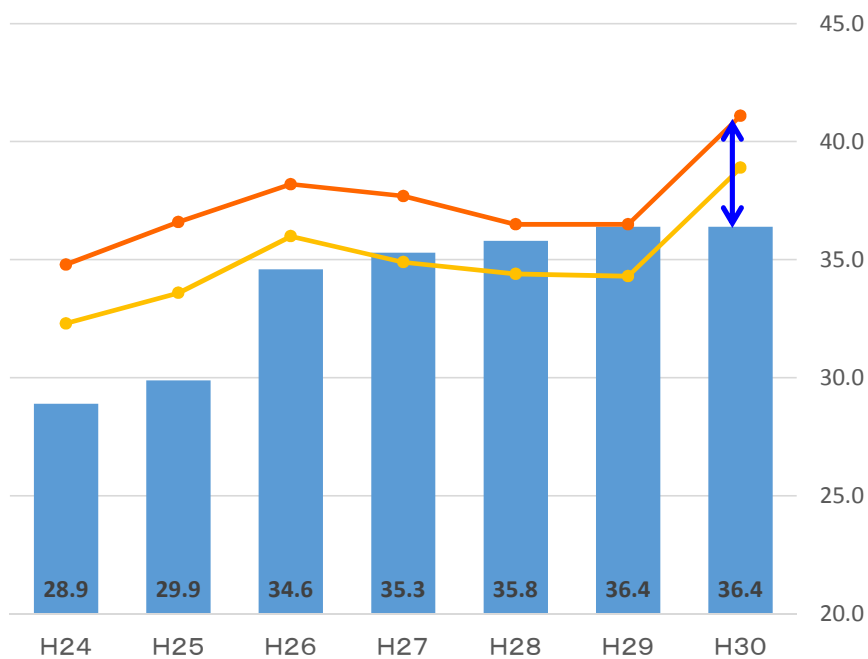
■ 名張市 ● 三重県 ● 全国

児童生徒質問紙

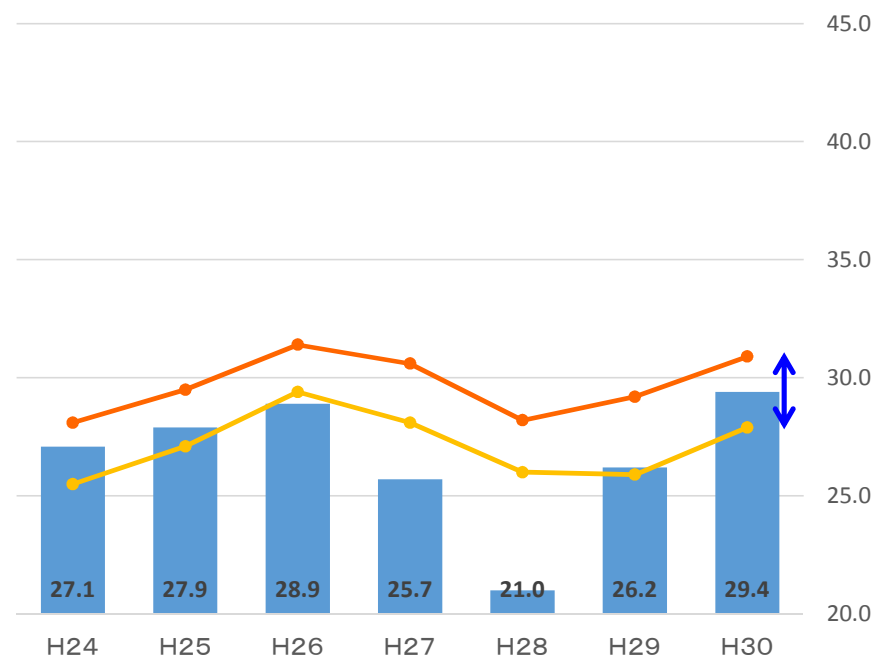
1日当たりどれくらいの時間、**読書**しますか。

(30分以上) ※教科書、参考書、漫画、雑誌除く

小学校 平日読書



中学校 平日読書



■ 名張市 ● 三重県 ● 全国

来年度の全国学調

<実施日> 平成31年4月18日（木）

現在の中2

<実施教科> 国語、算数・数学、英語（中学校のみ）

<変更点>

☆ A・B区分がなくなる（B問題にA問題をプラス）

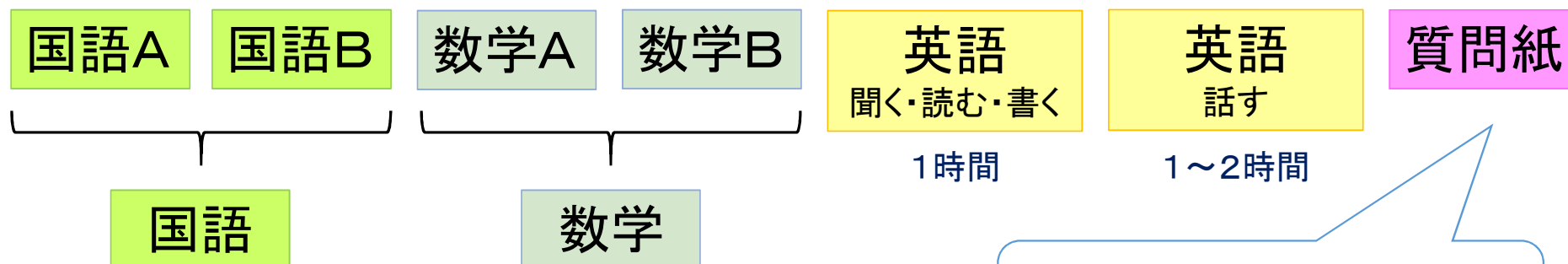
☆ 調査時間延長（小学校：40→45分、中学校：45→50分）

☆ 初めての中学校英語（4技能を調査）

聞くこと・読むこと・書くこと → 45分

話すこと → 約15分（PC室への移動を含む）

来年度の全国学調



A、B区分がなくなり、
各教科1時限で行う方向で議論が進んでいる。

※正式には12月ごろ発表予定

児童生徒の負担軽減のため
質問紙項目を整理・精選

新学習指導要領は、教科等の目標や内容を
「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間力等」
の3つの柱に基づき再整理し、3つの柱は相互に関係し合いながら育成され
るものとしている。 →A、Bに区分することがそぐわない。

来年度の全国学調

小学校

1 時限目 (45分)	2 時限目 (45分)	3 時限目 (45分)
国語 (45分)	算数 (45分)	児童質問紙 (20～40分程度)

2 時限目終了後に、各学校の状況に応じて、柔軟に実施可能。


「話すこと」調査の終了後に、「話すこと」調査に関する「生徒質問紙調査」の一部（所要時間1分程度の選択式）を実施予定。

中学校

1 時限目 (50分)	2 時限目 (50分)	3 時限目 (50分)	4 時限目 (50分)	5 時限目 (50分)	6 時限目 (50分)
国語 (50分)	数学 (50分)	英語 「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」 (45分)	生徒質問紙 (20～45分程度)	英語 「話すこと」 (1、2、3組)	英語 「話すこと」 (4、5組)

谷口さんたちは、将来なりたい職業について調べ、クラスの中で紹介し合うことになりました。谷口さんは、パン職人を選び、「資料1」を読みましたが、もっとくわしく知りたいと思ったので、「資料2」も読みました。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ



焼き立てのかがおりに包まれて


パン職人の仕事

【パン屋さんの一日】

5:00	パンの生地の確認 パンの形作り、焼き
7:00	開店
11:30	パンの形作り、焼き
14:00	翌日の天気の確認 翌日の生地作り
17:00	片付け 翌日の準備
19:00	閉店

朝5時からパン作り開始
7時の開店にやき立てのパンを並べるために、朝5時からパン作りが始まります。前日に準備した生地をパンの形にし、急こうさせ、焼き上げます。何種類ものパンを作るため、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行います。

気になる天気
パンの仕上がりは天気や気温、湿度によって大きく左右されます。翌日の天気予報を確認し、生地の配合などを調節します。



【パン職人への道】

```

graph TD
    A[① 中学校] --> B[② 高等学校]
    A --> C[⑤ 助手として修業]
    B --> D[③ 大学・短期大学]
    B --> E[④ 専門学校]
    B --> C
    D --> C
    E --> C
    C --> F[⑥ パン職人]
    
```

【資料2】パン職人について書かれた本のインタビューのページ

パン職人の声



「パン職人の坂下さん」に聞いてみました。

坂下さんはじめにある数字は、その段階の番号を示しています。

- ◆ **パン職人になつたきっかけを教えてください。**
 - 1 子供のころから、ふわふわ、もちもちのパンの食感が大好きで、たくさんパンを食べていました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考ええるようになりました。
- ◆ **どのような時に、パン職人になつたのですか。**
 - 2 中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入学していろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として修業をしました。修業中は、夢中でパンの作り方を学びました。半年たつてパン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。
- ◆ **この仕事の大変なところ、苦勞は何ですか。**
 - 3 同じ種類のパンでも、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるため、毎日同じ味になるように作り方を考えることが難しいです。
 - 4 また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思いどおりに作ることは、さらに難しいです。
- ◆ **どのような時に仕事の喜びを感じますか。**
 - 5 わたしはパンが大好きなので、パンのかがおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。とてもうれしいです。いいにおいにお包まれたがら、ふっくらと焼き上がったパンがからから出てくると、パン作りの苦勞がふさ飛びます。
 - 7 焼き立てのパンがお店に並ぶと、お客様から「おお、おいしそう。」とかん声が上がることがあるのですが、そんなふうにお客様のうれしそうなお声が聞こえた時は、パン職人をやっていてよかったです。



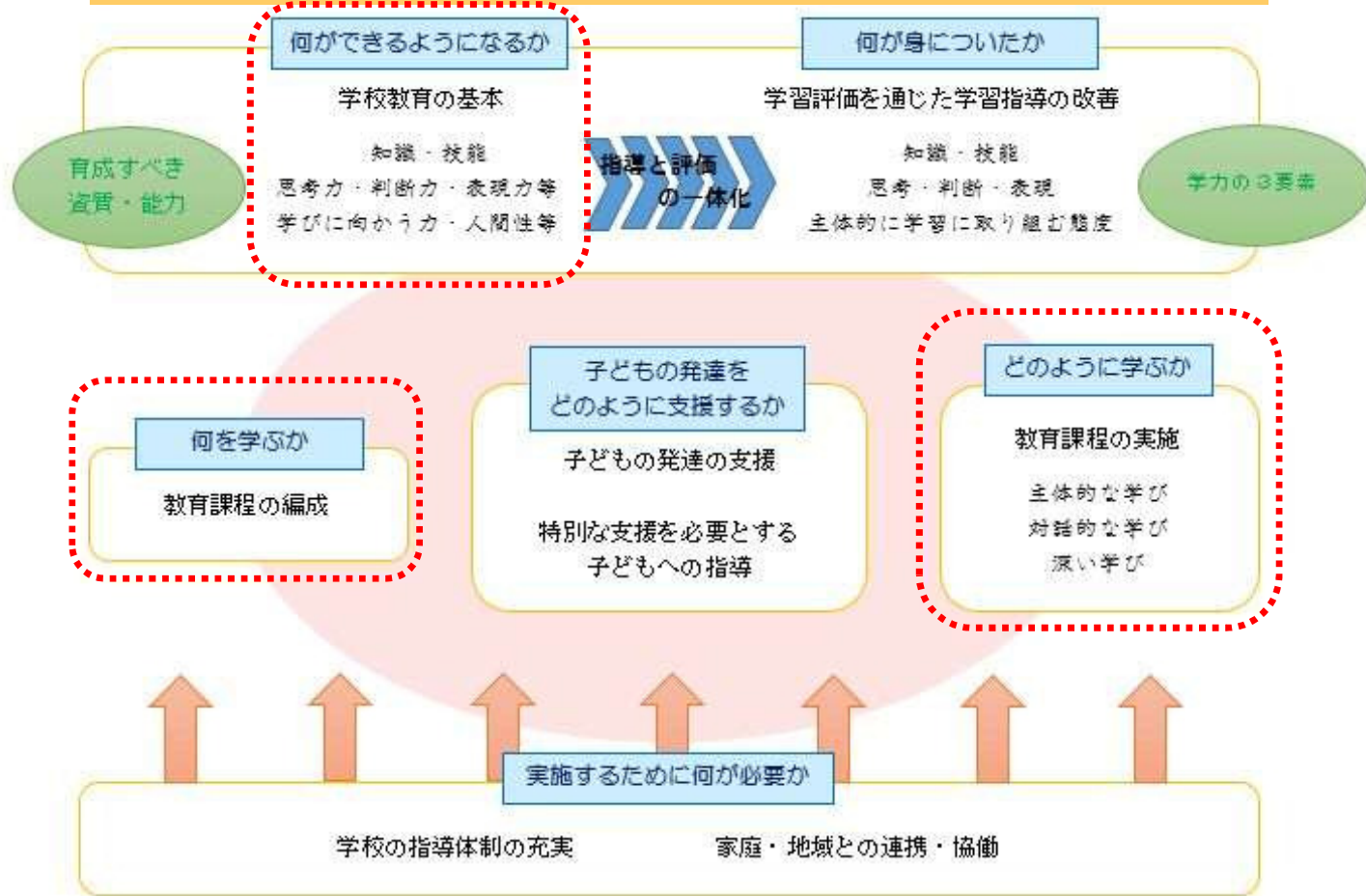
夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ぱりっ子」育成のために



学びに向かう力・人間性等



新学習指導要領 改訂のポイント



名張市における学力向上の重点取組について

<目 的>

どの学校・どの学年・どの教科の担当者も、子どもたちにその学年で身につけるべき学力をきちんと身につけさせて進級・進学させるため、学力向上のため学校体制での系統的・継続的な取組、教職員の意欲的かつ主体的な取組を行い、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックを活用して年度内に取組を検証し、次なる授業改善に生かす。

<取組を進めるにあたって>

各学校において校長のリーダーシップとマネジメントのもと、学力向上の取組が計画的に進められますよう、下記の点にご留意ください。

□全校体制での系統的・継続的な取組ができていますか。

全国学調、みえスタディ・チェックの実施学年・実施教科だけでなく、自校の強み・弱みを全教職員で分析し、授業改善に生かす。

□定着につなげるための取組ができていますか。

「好き」「わかる」を「できる」に結びつけるための指導（反復・復習）
個々がどこでつまづいているかの把握と必要な指導（補充学習、個別支援）
家庭学習の充実（家庭との連携）
経年的な課題の克服

→わかる・できる育成カリキュラム<割合編><図形編>の積極的な活用
(小学校全教職員に1冊ずつ、中学校に2冊ずつ配付)

□子どもたちの学習内容の理解・定着状況を確認・検証する取組ができていますか。

成績(点数)をつけるためだけのテストになっていないか。

必要な時期に、必要なテストの実施(小テスト、確認テスト、まとめテスト)
本年度の取組を検証するためのみえスタディ・チェックの実施(3学期)
→数値目標を設定し、達成に向けた全校体制の取組の実施
小5・中2・・・第2回問題実施(悉皆)
他 学 年・・・次年度学年の第1回問題を実施(学校判断)

□新学習指導要領で求められている資質・能力を育成するための授業改善ができていますか。

来年度、全国学調A・Bの区分がなくなることを踏まえ、子どもたちにどんな力をつけなければならないか、教職員の理解を深める。

<活用ツール>

※◎印は、**職員用全体フォルダ** ⇒ **000 学校教育室** ⇒ **平成 30 年度** ⇒ **★学力宝箱** にデータを入れてあります。必要に応じて、コピー・印刷して使用してください。

◎みえスタディ・チェック

第1回(4月実施:小4・小5・中1・中2)問題用紙、解答用紙、答えとアドバイス

◎わかる・できる育成カリキュラム ※<割合編><図形編>修正版もあり

割合スペシャル 各校1部ずつ配付

「割合・百分率」の学習内容を確認できるたしかめプリントを「割合スペシャル」としてまとめたものです。

計算マスター

・・・・・・・・配付されません（各自で印刷）

基礎的な計算力を段階的に確認できるたしかめプリントを「計算マスター」としてまとめたものです。

図形たしかめプリント（追加版）

・・・・・・・・配付されません（各自で印刷）

「角の大きさ」「図形の特ちょう（三角形、四角形、円や球など）」「作図（垂直・平行、図形）」の学習内容を確認できるたしかめプリントを「図形たしかめプリント（追加版）」としてまとめたものです。

◎効果的な少人数指導推進ガイドブック

○学 Viva セット ※紙媒体で配付、授業改善サイクル支援ネットからダウンロード

第11弾（6月配付済）

・H30全国学調、みえスタディ自校採点結果の課題に対応

第12弾（11月配付予定）

・学習の定着状況を確認できる **ワークシート** で構成。



過去問題のうち経年的に課題となる
正答率の低い問題で作成。

・当該学年で身につけておくべき基礎からの標準的な問題を集めたワークシートを加えて提供。

[問題例] *小国：主語・述語の関係に気を付けて正しい文を書く問題

*小算：80人は200人の何%に当たるのかを問う問題（割合）

円周率を求める式を問う問題（図形）

第2回みえスタディ・チェック（1月実施）は、4月実施からの定着状況の確認や経年での比較検証ができるよう、これまで出題した問題や11月の学 Viva セットの問題を活用し、同一、同趣旨の問題で作成。

計画的な活用による改善状況の把握と取組の検証をお願いします。

第13弾（2月配付予定）

<その他の取組>

○魅力ある学校づくり（心の居場所づくり・絆づくり）の取組の充実

安心して学べる学習環境

学び合い、高め合う学級集団・・・・Q-Uの活用

○積極的な学校訪問による取組の状況把握とニーズに応じた指導・支援

各指導主事（6人）が学力に関する担当校を決め、積極的に学校訪問、授業参観を行う等、若い教職員、課題のある教職員を中心に早期からの適切な指導を継続的に行う。

